

先打ちで乱舞!! 寒グロ 実釣編

今年は、例年よりも水温が高めで、12月だと言うのに、22度前後あります。この号が出る頃は、たぶん20度ぐらいには、なっているのではないのでしょうか。それでも約2度程高めで推移しています。そのため、クロ釣りの税金のエサ盗りたちがすこぶる元気です。そこで今回は、エサ盗り対策を中心に寒グロ攻略を考えてみようと思います。

甌島 瀬々野浦

今回は、久しぶりに甌島の西側の瀬々野浦です。大変嬉しいです。クロ釣りはもちろんですが、断崖絶壁が続く瀬々野浦断崖。そして何と言っても有名なナボレオン岩。太古の大昔に自然隆起で出来た奇怪な岩や青黒い海が釣り人を迎えてくれ、テンションが上がり男のロマンが広がります!

さて、12月初旬の日曜日、川内港を午前3時に出航。約1時間30分ぐらいで到着です。船内はゆつくり足を伸ばして寝れるので快適ですよ!

「グレパワーV9」は、やはり集魚力抜群です。「超遠投グレ」は、その名前の通り遠投タイプですが、比重が軽く、よく飛び、そして投入点が、従来の遠投タイプよりも判りやすいです。「グレの道」は、見やすい白いニゴリが長続きして見えるので、沖に直接投入しても、長い間見えて、先打ちマキエに効果的です。この3種類ブレンドはオススメです!



マルキユーより新発売の「超遠投グレ」と「グレの道」。「V9」を加えて、さらにパワーアップ!!

マキエサ、ツケエサ

早速、マキエサ作りです。今回は、午後1時回収なので、生オキアミ3kgを3角、それとマルキユーの「グレパワーV9」、新製品の「超遠投グレ」、同じく新製品ですが、九州限定品の「グレの道」を各1袋ずつ準備し、2回に分けて使用します。

仕掛け

ツケエサは、生のオキアミとマルキユーの「グレ丸」を用意します。「グレ丸」は、小粒から大粒まで入っていて、小粒はそのまま使用します。大粒は、頭を取ったり、半分だけムキ身にして刺すことが多いです。要は、ハリの大きさに合わせたツケエサを付けるようにしないと、遠投した時に身切れをして外れてしまいます。



▲黒潮色、強靱で潮によく馴染むサンライン・ブラックストリーム。口太には2号、1.75号、1.5号でカバー



▲ハリの大きさに合わせたツケエサで身持ちも良好!

マキエは遠投も視野に入れ、水気が少ないぐらいバサバサの状態仕上げた



▲ハリの大きさに合わせたツケエサで身持ちも良好!

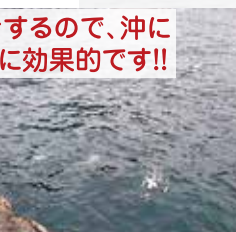
ウキ止め
道糸:サンライン
ブラックストリーム
マークX 1.5号
半円シモリ
ウキ:釣研 セクトL 0号
プランクレス円錐 0号
グラビティ 0α
フカセからまん棒
イエロー
極小サルカン
ロッド:がま磯
グレ競技SPII
1.25-5.3m
ハリス:サンライン
ブラックストリーム
1.75号 2~2とロ半
ハリ:がまかつ
競技くわせ5~6号
TKO 3~4号



▲黒潮色、強靱で潮によく馴染むサンライン・ブラックストリーム。口太には2号、1.75号、1.5号でカバー

察します。エサ盗りの種類、数、大きさ、潮の流れ、エサ盗りの中にクロは居るか、エサ盗りは、どのくらいまで浮いて来るか、動きはどうか等々。様々なことを、この足元マキエで確認をします。

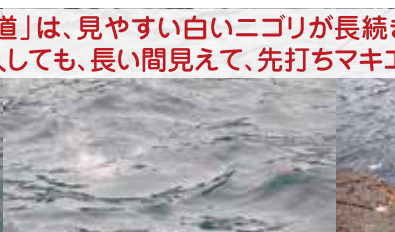
沖側に打ったマキエサに、エサ盗りたちが行かないなら、もう少し沖側(約15m)に3杯広く(三角形の感じに)打って、また足元に2杯。これを繰り返します。



▲黒潮色、強靱で潮によく馴染むサンライン・ブラックストリーム。口太には2号、1.75号、1.5号でカバー

次に、もう一度足元マキエを5、6杯入れ、やや間隔を置いて1杯、もしくは2杯だけマキエサを少し沖側に入れてみます。そしてすぐ足元に、エサ盗り用のマキエサを2、3杯入れ、沖のマキエサに、エサ盗りが走るかどうかチェックします。今回は、沖のマキエサには、エサ盗りが行く様子はないみたいです。(よしよし!)

沖側に打ったマキエサに、エサ盗りたちが行かないなら、もう少し沖側(約15m)に3杯広く(三角形の感じに)打って、また足元に2杯。これを繰り返します。



▲黒潮色、強靱で潮によく馴染むサンライン・ブラックストリーム。口太には2号、1.75号、1.5号でカバー

「グレの道」は、見やすい白いニゴリが長続きするので、沖に直接投入しても、長い間見えて、先打ちマキエに効果的です!!

マキエサを作ってもまだ暗いので、仕掛けを先に作ります。本当は、マキエサをまず足元の見やすい所にまいて、海の中を観察してから仕掛けを作るのがいいと思います。最低でも5分ぐらいは、観察するようにします。

号、道糸は釣れるクロのサイズと、今回の風を考慮して1.5号。ハリスは、朝は1.75号。陽が高くなってくれば1.5号。ハリはグレバリの6号からスタートして、クロの喰い気、それと自然な落とし込み、潮の強弱に合わせたハリにどんどん変えて行きます。

ちなみに私が一日に使うハリは、だいたい30本前後です。色はオキアミカラーをメインに、ツヤ消し、黒色、シルバーをよく使います(参考までに)。詳しくは、仕掛け図を参照して下さい。

実釣

午前7時、釣りスタートです。まず足元竿1本ぐらい先に、マキエサを5、6杯まいて、海中を観

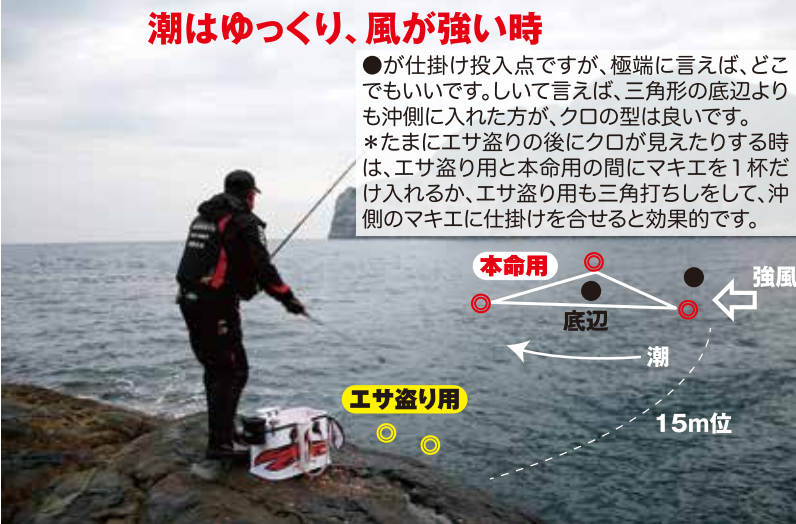
潮はゆっくり、フラフラ潮

●仕掛け投入点
●マキエ

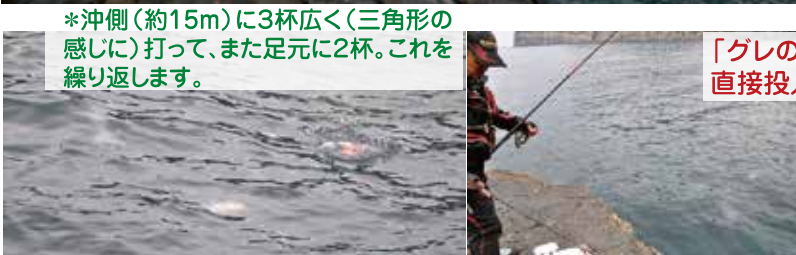


潮はゆっくり、風が強い時

●が仕掛け投入点ですが、極端に言えば、どこでもいいです。しいて言えば、三角形の底辺よりも沖側に入れた方が、クロの型は良いです。
*たまにエサ盗りの後にクロが見えたりする時は、エサ盗り用と本命用の間にマキエを1杯だけ入れるか、エサ盗り用も三角打ちをして、沖側のマキエに仕掛けを合せると効果的です。



*沖側(約15m)に3杯広く(三角形の感じに)打って、また足元に2杯。これを繰り返します。



▲黒潮色、強靱で潮によく馴染むサンライン・ブラックストリーム。口太には2号、1.75号、1.5号でカバー